

1 単元名

地域と共に生きる

2 単元の目標

○野沢温泉村の自然や文化についての探求的な学習活動を通して、地域の伝統を受け継ぎ、地域の文化を愛し、地域の良さを広く発信している野沢温泉村の人々の生き方や思いを知り、自分たちが住む地域の良さを広げるために、自分たちでどんなことができるのか考え、発信していく力を付ける。

3 児童（生徒）の実態

6年生になり、卒業したら中学校に進学するという身近な未来について考える機会が増えてきている。一方で、大人になったら、こんな人になりたい、こんな仕事に就きたいというさらに先の未来については、まだまだ漠然としていたり、将来の目標をもてなかつたりする児童が大半である。また、現在取り組んでいる学習や生活が将来、どのようなことにつながっているのか、そもそも活用する場面はあるのか疑問に思っている児童も多い。

そこで、現在の学習や生活のどんなことが、将来のどんな場面や分野とつながっているのかイメージをもつことができるようにすること、将来の自分の夢や目標を見つけるきっかけになること、そして、一番近い未来の中学生に向け、今頑張ること（現在の目標）を明確にすることをねらいに、そして何よりそれらは、自分たちだけでなく、地域や社会とつながりながら、相互に発展していくことを意識させることを本学習に取り組むこととした。

4 単元で育む能力・態度

この単元で理解を深める概念

- I 多様性（いろいろある）
- II 相互性（関わりあっている）
- III 有限性（限りがある）
- IV 公平性（一人一人大切に）
- V 連携性（力を合わせて）
- VI 責任性（責任を持って）

この単元で重視する能力・態度

- ① 批判的に考える力
- ② 未来像を予測して計画を立てる力
- ③ 多面的・総合的に考える力
- ④ コミュニケーションを行う力
- ⑤ 他者と協力する態度
- ⑥ つながりを尊重する態度

5 本単元とSDGsとの関連について

関連するSDGsの目標 『17 パートナリシップで目標を実現しよう』

SDGsのすべての目標を達成するためには、パートナーシップを結ぶことが重要である。このパートナーシップ＝協力と本単元は関連している。

校外学習や体験学習、地域社会と連携しながら仕事をしている方などの出前授業等、社会に開かれた教育課程の実施を通して、自分の生活が個人だけで成り立っているのではなく、地域や社会の中で成り立っていることに気が付く。学校生活も保護者の方や地域の方の協力があって成り立っていることに気が付く。これらの気付きから、今後自分が大人になるにつれ、地域や社会のためにどんなことができるのか考えさせたい。本単元では、「どんな人になりたいか」、「将来、どんなことをしたいか（仕事や夢）」のために「今」からできることや頑張ることは何かを具体的に考えることができるようにする。

6 単元の学習の流れ

【導入】

野沢温泉村宿泊体験学習に行くにあたり、野沢温泉村のことについて調べ学習を実施する。稲城市との比較を通し、なぜ、野沢温泉村がこれほど多くの人に認知され、人気のある地域なのか、村の人への

インタビュー活動を実施する。

【課題の設定・整理分析】

課題①野沢温泉村宿泊体験学習を通して得た情報を基に、村の人が地域を誇りに思う気持ち、地域に恩返ししたい気持ちが強いこと、その思いを実現するために様々な「仕事」をしていることを知り、稲城市に住む自分たちの思いと仕事を調べる。

課題②地域や社会には、様々な「仕事」があり、それは自分の生活を成り立たせるだけでなく、地域や社会に貢献する一面があることを知り、どのようなことで地域や社会に貢献しているのかを調べる。

課題③様々な職種に就く方々からの出前授業から、自身が取り組んでいる「仕事」が、小さいころの経験や学校での学習や生活と関連があることを知り、「仕事」と「今の学習や生活」にどんなつながりがあるのか調べる。

課題④児童たちにとって、最も身近な中学生の先輩からの映像資料から、小学校生活と中学校生活の違いや、小学校での学習と中学校での学習のつながりについて知り、「小学校」、「中学校」、「将来」と学習面、生活面でどんなつながりがあるのか考える。

【発表・まとめ】

発表①学習発表会の機会を活用し、「仕事」と「今の学習や生活」にどんなつながりがあるのか分かったことや自分が考えたことを発表する。

発表②3学期（予定）での発表活動を設定し、これまでの学習を通し分かったことや、考えたことを基に、自分の目標を宣言する機会を設けたり、自分たちと地域や社会の結び付きをさらに強くする機会を設定し、地域や社会と共に自己実現を図る、自己実現のために地域や社会に貢献していく意識をもたせたりする。

7 本時の目標

現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら主体的に行動しようとする態度を養う。

8 本時の学習の実際

- ①6年生になってから、どんなことを頑張ってきたのか振り返る。
- ②中学生からのインタビュー動画を見て、中学校生活と小学校生活を比べる。
- ③「なりたい中学生」について考える。
- ④「なりたい中学生」になるために、今から取り組めることをグループで話し合う。
- ⑤話し合いから、自分が今から取り組むことをまとめる。



9 成果と課題

○成果

- ・野沢温泉村や稲城市の、「地域」、「人」、「仕事」について調べるだけでなく、実際に「人」と関わりながら、学習を進めることができた。
- ・現在取り組んでいる学習が、将来の学習や生活にもつながっていることがあることを知り、単に「テストでいい点をとりたい」だけでなく、「国語の学習で、自分の考えを文章に分かりやすく書けるようにしたい」や「自分の考えをさらにパワーアップさせるために、班やグループでのコミュニケーションを大切にしたい」といった、より具体的な目標をもつ児童が増えた。

○課題

- ・活動内容が、総合的な学習の時間のみならず、各教科での学習、学活での学級活動（3）など、多岐に渡ったこともあり、「まとめ」が難しくなってしまった。